

沖縄県立具志川高等学校 令和5年度 国語科シラバス

科目名	単位数	学年	必修	備考
古典探究	2/4	2	必修	2・3年生での分割履修

1 科目の概要・学習目標

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 成績・評価・観点の割合

(1) 知識及び技能 (50%) : 我が国の言語文化の担い手として、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。文語文法のきまり、和歌の修辞法への理解を深めている。【評価方法：定期テスト、小テスト、ワークシートの内容、授業ノート】

(2) 思考力、判断力、表現力等 (30%) : 時代背景や文章の種類・特色を踏まえて、展開や内容を的確に捉えている。古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。【評価方法：定期テスト、ワークシートの内容、授業ノート、授業態度（観察・発言）等】

(3) 主体的に学習に取り組む態度 (20%) : 粘り強く各教材に取り組み、理解しようとしている。また授業内におけるペア・グループ学習などを通し、積極的に他者と意見を交換しながら学ぼうとしている。【評価方法：提出課題・授業態度（観察・発言）・定期考査後の誤答ノート等】

3 ■使用教科書・△副教材

■第一学習社「高等学校精選古典探究」△第一学習社「精選古典探究学習課題集」（準拠ノート）△京都書房「新訂国語図説」△いっぴいな書店「Key&Point 古文単語 330」△数研出版「要点プラス体系古典文法改訂版」「準拠ノート」△桐原書店「漢文必携」「準拠ノート」

4 授業展開、形態・方法 2クラス3展開の習熟度別授業（各クラス28人程度）

・文語の決まりを踏まえて文章を読み、内容を的確に把握し、ペア・グループなどで批評したり討論したりする。古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。

学期	月	領域	扱う教材	時数	定期考査	古典単語範囲	評価方法
1	4	古文	小式部内侍が大江山の歌	6	1学期 期末	第1章 読解必修語 50	【知識】 ・定期考査 ・各単元毎小テスト ・週1実施予定の古典単語テスト 【思考】 ・定期考査 ・学習課題ノート ・授業内の態度・発言・発表 【主体的姿勢】 ・ペアやグループ学習における協働的態度の観察 ・誤答ノート ・各種課題の提出率および内容
	5	漢文	推敲	4			
	6	古文	ゆく川の流れ	6	2学期中間	第2章 入試必修語 100（動詞～名詞）	
	7	漢文	不出門	5			
2	9	古文	初冠	7	2学期 期末	第2章 入試必修語 100（副詞～連体詞・連語）	
	10	漢文	鴻門之会	1 2			
	11	古文	雪のいと高う降りたるを	6			
	12	漢文	孟子・性善	5	学年末	第3章 最重要敬語 30	
3	1/2	古文	若紫	1 2			
	3	漢文	鶏鳴狗盗	7			

5 学習方法・学習のポイント

〔予習〕【知】教材の写本・書き下し文等を行い、品詞分解・口語訳を試みる。わからない単語や使われている句形等を予め調べておく。【思】どんな話か、文学史的位置づけを理解した上で内容を自分なりに読み取る。

〔復習〕【知】学習した文法や語彙を定着するまで反復学習する。【思】副読本等を利用し読解問題を解き、授業内容を補完する。その時代の文化に興味を持ち、理解しようとする。

\*上記を積極的かつ粘り強く行う姿勢を【主体的姿勢】として考えること。

6 その他・・・主に定期考査を成績の判断材料とするが、単元毎の小テスト、授業態度、授業内で課された課題や長期休み中の課題なども加味する。また、主体的に学ぶ態度を測る指標として、実力・定期考査後には間違った箇所を復習し、学び直しと自己分析、目標設定を目的とした「誤答ノート」を課す。